

No. E12-01

平成24年 6月

## 検査案内 2012 発行に伴う 定期的見直しのお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、検査案内 2012 発行に伴う定期的な見直しにより検査内容を一部変更させて頂きたくご案内いたします。  
誠に勝手ではございますが、何卒ご了承賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬白

### 記

#### ● 変更項目及び変更内容：

検査案内頁	項目コード	検査項目	変更箇所	変更後	変更前
iii	-	依頼検体の保管	表記	お預かりいたしました血清検体につきましては、検査受付日より10日間保管し、再検査や追加検査のご要望にお応えしております。保管期間は、お預かりした検体の種類によって異なりますが、腐敗・変性の著しい材料につきましては検査実施後すみやかに処分させていただきます。(後略)	お預かり致しました検体は、検査受付日より10日間保管し、再検査や追加検査の御要望にお応えしております(但し末梢血液検査3日間、血糖・HbA1c検査4日間、尿6日間)。(後略)
21	286	エストロゲン総 [非妊婦]	検査方法 表記	RIA硫安塩析法	RIA硫安法
37	409	白血球像	検査方法 表記	自動機械法	フローサイトメトリー法 及び鏡検法
			備考	※は鏡検法の時に表示され ます。自動機械法での再検査は 鏡検法で行います。	※は鏡検法の時に表示されま す。フローサイトメトリー法での 再検査は鏡検法で行います。
45	319	不規則性抗体	所要日数	2~5日	2~6日
46	1103	エンドトキシン	検体量	血液3.0mL	血液2.0mL
53	1378 (6049)	麻疹ウイルスIgM	欄外	【麻疹ウイルスIgMの結果にお ける注意事項】 伝染性紅斑(パルボウイルス B19感染)、デング熱、突発性 発疹(HHV6感染)などでも麻疹 ウイルスIgMが陽性となる症例 があることが報告されていま す。診断においては臨床症状 および他の検査法を加味し、総 合的に判断してください。	なし。

検査案内頁	項目コード	検査項目	変更箇所	変更後	変更前
55	737	呼吸器感染症ウイルス同時検出PCR	検出対象病原体表記	メタニューモウイルス アデノウイルス コロナウイルス229E/NL63 コロナウイルスOC43/HKU1 パラインフルエンザ1 パラインフルエンザ2 パラインフルエンザ3 ライノウイルスA/B RSウイルスA RSウイルスB インフルエンザA インフルエンザB 新型インフルエンザH1N1 2009	メタニューモウイルス アデノウイルス コロナウイルス229E/NL63 コロナウイルスOC43/HKU1 パラインフルエンザ1 パラインフルエンザ2 パラインフルエンザ3 ライノウイルスA/B RSウイルスA RSウイルスB インフルエンザA インフルエンザB 新型インフルエンザ(H1N1)
55	738	インフルエンザウイルスタイプ判別PCR	検出対象病原体表記	インフルエンザA インフルエンザB 季節性インフルエンザH1 季節性インフルエンザN1 新型インフルエンザH1N1 2009	インフルエンザA インフルエンザB 季節性インフルエンザH1 季節性インフルエンザN1 新型インフルエンザH1N1
82	5001	細菌顕微鏡検査 (塗抹鏡検)	所要日数	1~3日	2~3日
82	5270	嫌気性培養	所要日数	3~14日	4~8日
83	-	ヘリコバクター・ピロリ培養同定	所要日数	5~8日	8~11日
84	5391 5392 5393	細菌薬剤感受性検査	所要日数	3~7日	4~7日
86	5020	真菌検査顕微鏡検査 (塗抹鏡検)	所要日数	1~3日	2~3日
86	5110	真菌培養同定検査	所要日数	3~19日	3~16日
86	5320 5300	抗酸菌顕微鏡検査 (抗酸菌塗抹鏡検)	所要日数	1~3日	2~3日
86	5360	抗酸菌核酸同定	委託先	エスアールエル	保健科学研究所
86	2698	マイコバクテリウム・アビウム及びイントラセラー核酸同定検査 (MAC-PCR)	検体量	喀痰 2mL 体液 2~5mL	喀痰
90	-	検査材料の提出方法について ●ホルマリン固定組織	記載内容	⑥組織を固定したら、日時等(採取年月日、固定液の濃度、種類)を必ず依頼票にご記入ください。	⑥組織を固定したら、日時等を必ず依頼票(採取年月日、固定までの時間、固定液の種類)にご記入ください。
94	-	検査材料の提出方法について	記載内容 追記	細胞診検査は、原則として塗抹し、湿固定もしくは乾燥固定の未染色スライドでご提出ください。 また、材料でご提出の際には、専用の滅菌済み容器でご提出ください。 細菌検査・一般検査等とは別に検体をご提出ください。	細胞診検査は、原則として塗抹し、湿固定もしくは乾燥固定の未染色スライドでご提出ください。 また、材料でご提出の際には、専用の滅菌済み容器でご提出ください。
112	-	K クエン酸Na真空採血管 L クエン酸Na真空採血管	取り扱い方法	注意: 検査結果に影響を及ぼすため、必ず規定量まで採血してください。	なし。

- ◆ 当社の検査案内記載の項目名称は、診療報酬点数表記載の名称を基本としております。平成 24 年 4 月 1 日の診療報酬点数の変更により名称が変更となった検査項目につきましては、変更後の名称で記載させていただいております。但し一部項目については、これまでの表記を継承させていただきました。